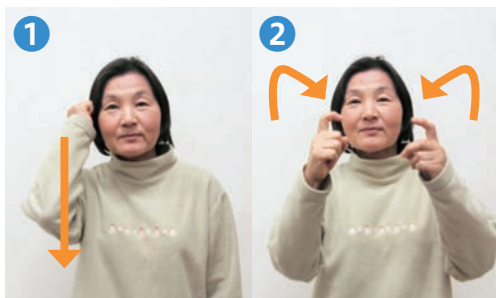


## 伝わったら嬉しい! 手話であいさつしてみよう

異国を旅した時、現地の言葉であいさつを交わすように、日々の暮らしの中で手話を言語とする方と出会った時には、簡単なあいさつだけでも手話で伝えられたら、気持ちもぐっと伝わりやすくなります。手話であいさつをしてもらえるのは嬉しいですよ。ぜひ、覚えて使ってみましょう!

### おはよう



枕のイメージの握りこぶしを下に降ろし、指で会釈(あいさつの意)する。



▲動画

### こんにちは



ピースの指をおでこに当ててから、指で会釈する。



▲動画

### こんばんは



カーテンを閉めるような動きの後、指で会釈する。



▲動画

### ありがとう



左手の上に右手を置き、垂直にあげる。



▲動画

協力: でんでん虫の皆さん

### POINT



- 手の形のみではなく、顔の表情や、体の動き、動きの強弱なども、大切な要素(手の形のみで伝えられることは、全体の30%程度とも言われる)
- 口の動きもあると、なおわかりやすい
- 何よりも「伝えたい!」という気持ちが大切!

### 手話だけではない、伝え方



耳マーク

このマークを身に着けている人は「耳が不自由です」というメッセージですが、役所や病院などの施設に表示されている場合は、「この施設では、聴覚障害者を援助しますよ」というメッセージになります。

援助の方法は、手話だけでなく、筆談、アプリ、ゆっくり話す、図を使うなど、いろいろな方法があります。

ぜひ、あなたにもできる方法を考えてみてください!



▲市役所窓口での表示例